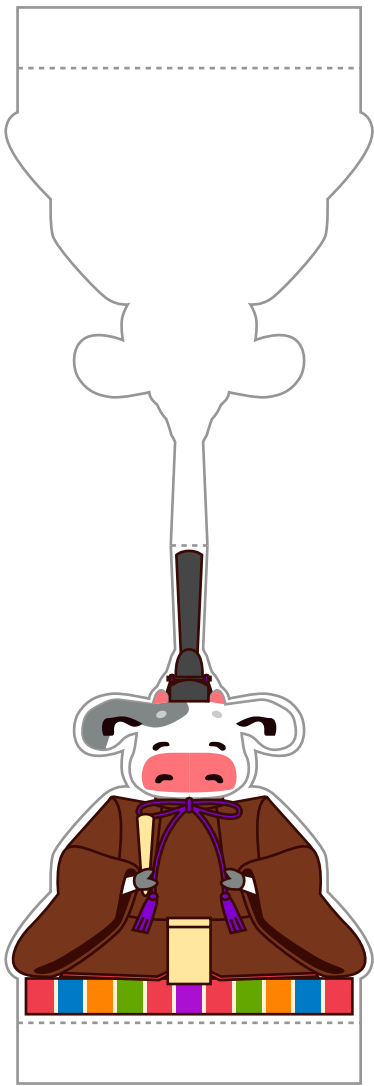
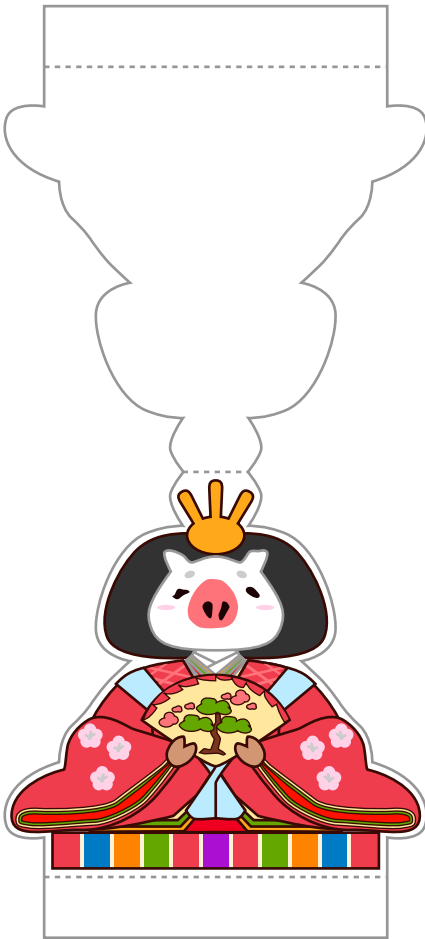




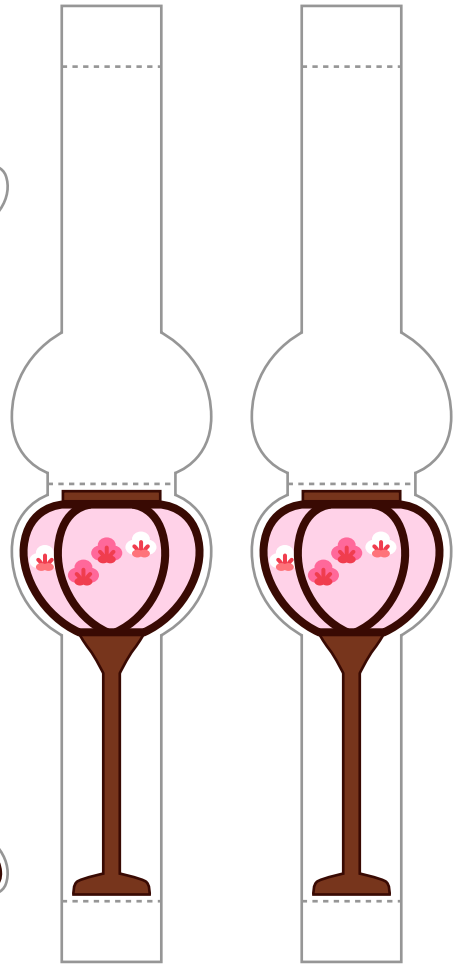
# 五世のおひなさま



男雛 (おびな)

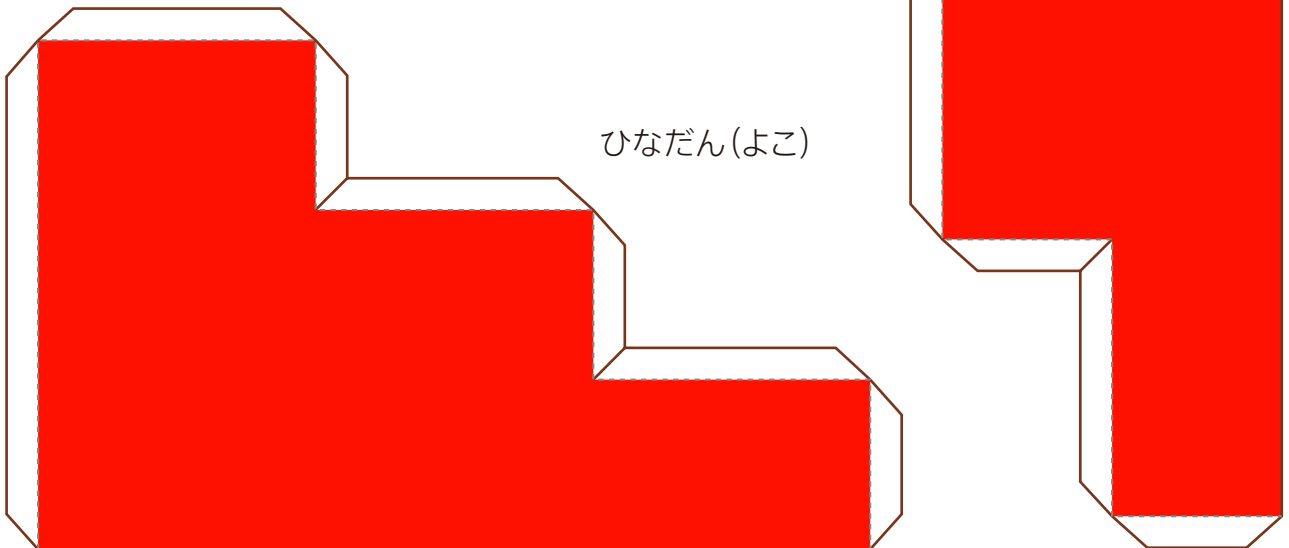


女雛 (めびな)



ぼんぼり

やまお  
山折り -----  
たにお  
谷折り -----



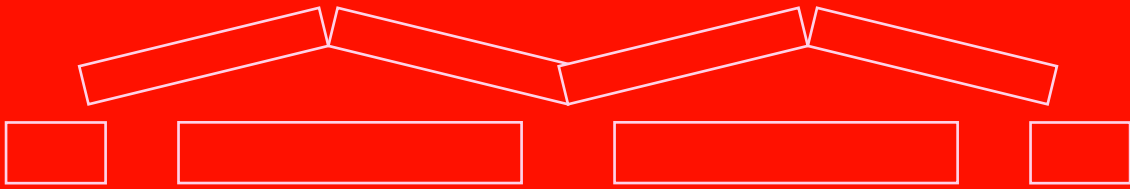
ひなだん (よこ)



# 五世のおひなさま

やまお  
山折り -----  
たにお  
谷折り - - - - -

ひなだん



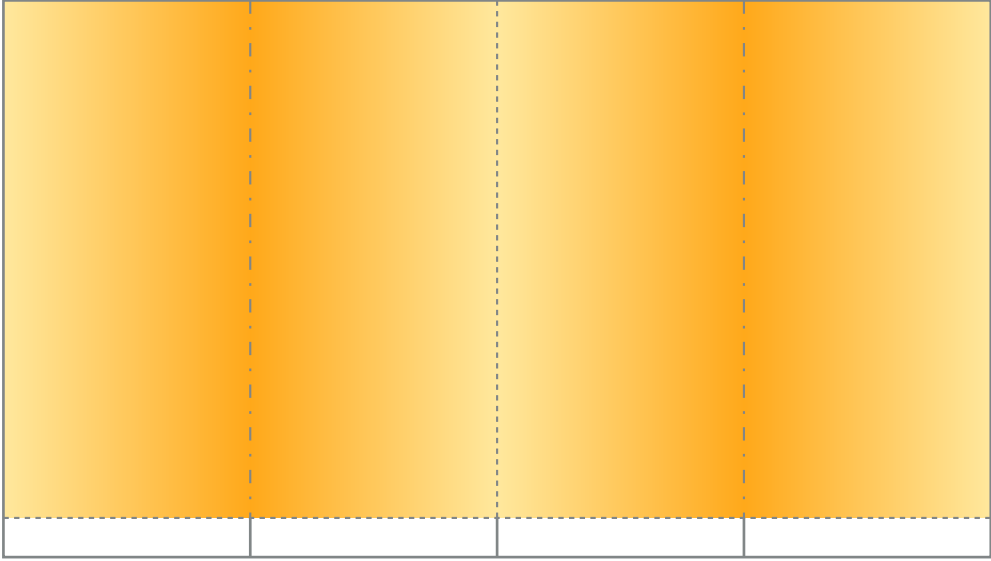
こちらがまえになります↓



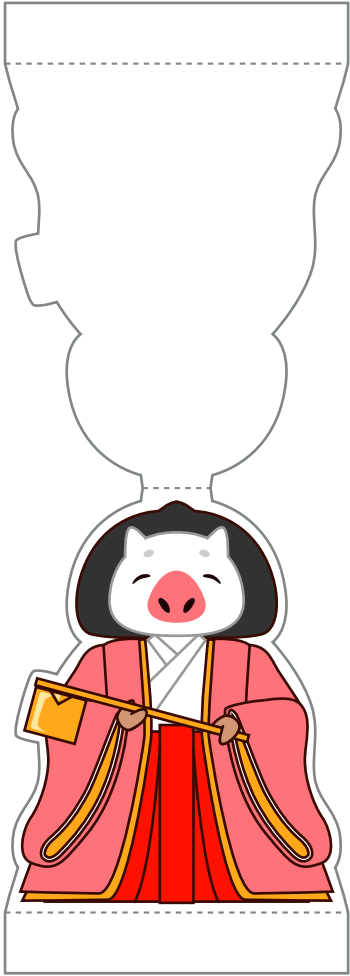
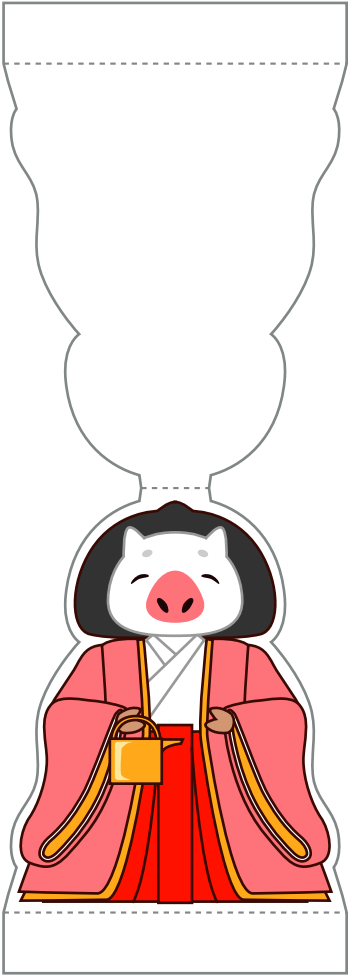


# 万世のおひなさま

やまお	-----
山折り	-----
たにお	-----
谷折り	-----



びょうぶ



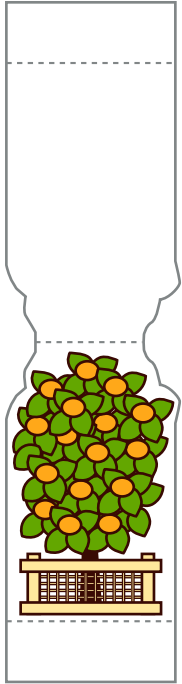
三人官女(さんにんかんじょ)



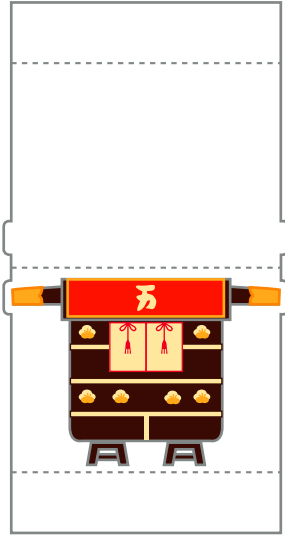
# 五世のおひなさま

やまお  
山折り -----

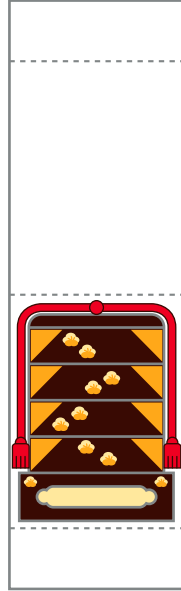
たにお  
谷折り - - - - -



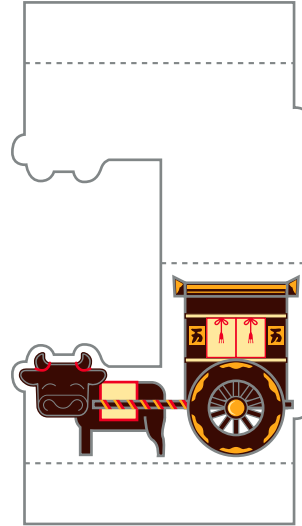
右近の橘  
(うこんのたちばな)



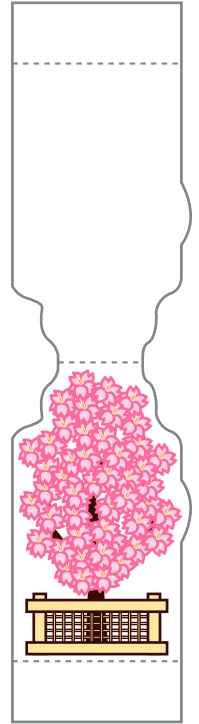
駕籠  
(かご)



重箱  
(じゅうばこ)



牛車  
(ぎっしゃ)



左近の桜  
(さこんのさくら)

## ひなまつり まめ ちしき 豆知識

◆**桃の節句** (もものせっく) ・ ・ ・ 日本には1年のうちに5つの節句(人日・上巳・端午・七夕・重陽)があります。節句とは、季節の変わり目に身体のけがれをはらい、健康を祈願するのがならわしとされています。  
このなかの3月3日の「上巳(じょうし)の節句」が、平安時代に紙の人形で遊ぶ「ひいな遊び」と、災いを移した紙の人形を川や海に流す「流し雛」の行事と結びつき、「ひな祭り」の原型へとなってきました。

上巳の節句は旧暦でちょうど桃の花が咲く時期でしたので、後に「桃の節句」と呼ばれるようになりました。

◆**雛祭り** (ひなまつり) ・ ・ ・ ひな祭りは女の子の厄除けと健やかな成長を祈願する「桃の節句」に行われる行事です。  
ひな人形は女の子の身代わりとして、災厄が子供にふりかからないようにという、守り神の役目になっているのです。

◆**雛段飾り** (ひなだんかざり) ・ ひな段かざりは「結婚式」を表しています。  
男雛、女雛は天皇、皇后を表していますが、生まれてきた女の赤ちゃんと将来の花むこさんの意味もあります。三人官女は巫女さんです。その他、嫁入りのときに乗る牛車や家財道具等を飾ります。